

茶樹系統適応性検定試験 ～高知県での栽培適応性を検討しています～



系統適応性検定試験の圃場

現在、国等の茶品種育成機関で選抜された 18 系統について試験を行っています。

生育状況（萌芽期、摘採期など）、病虫害の発生程度、生葉収量および荒茶品質などについて、「やぶきた」を対照品種として比較検討しています。今後、この中から荒茶品質が優良で、クワシロカイガラムシに抵抗性を持つ系統などが品種候補になる見込みです。

その他、6 系統の試験がスタートしており、定植 3 年目から摘採し始める予定です。